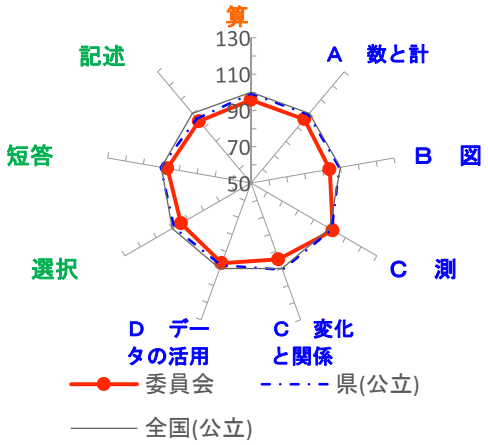
＜小学校算数＞



算数
全体の正答率は、全国の正答率を下回っている。領域別にみると、「測定」の分野で全国の正答率とほぼ同等の数値を示している。

数と計算	◇小数が整数と同じ十進位取り記数法の仕組みで表されていることを理解し、条件に合う小数をつくることができる。 ◆整数と小数の減法の計算をすることに課題がある。
図形	◇直方体の箱の形を構成する面について理解することができる。 ◆体積は単位体積の立方体の幾つ分で表すことができることの理解に課題がある。
変化と関係	◆単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味の理解に課題がある。 ◆示された基準量と割合から、比較量を捉えることに課題がある。
データの活用	◇帯グラフの特徴と用い方を理解し、およその割合を読み取ることができる。 ◆二次元の表から、条件に合う数を読み取ることに課題がある。

授業改善のポイント

◇→概ね身についている。
◆→課題がある。

●小数の加法及び減法の計算は、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるようにすることが重要である。その際に、計算の結果の見積りをしたり、計算の確かめをしたりすることを習慣化する。
●ブロックなどの具体物を用いて直方体や立方体の体積を比較する活動を取り入れる。体積は1cm³の幾つ分として表すことができることや、立体の形が違っても体積は同じであることを理解できるようにすることが大切である。
●示された基準量に対して、様々な比較量がどれだけに当たるかを、図を通して考える活動を取り入れる。
●日常生活の問題を解決するために、データを正しく表やグラフに表したり読み取ったりして、得られた結論について考察できるようにすることが大切である。